

有水中学校校長室より

令和4年9月27日(火)
文責 木宮 崇子

台風のあとに・・・

台風14号により、枝と銀杏の葉や実が飛び散ったグラウンド、数々の倒木、はがれ落ちた体育館の軒などの被害がありました。道路に倒れていた木々は、台風通過直後に駆けつけてくださった地域、保護者の方々が見事に撤去してくださいました。心よりお礼申し上げます。

延期されたスポーツフェスタでしたが、絶好のコンディションで開催することができました。平日にもかかわらず、たくさんのご家庭の応援ありがとうございました。ご協力心より感謝申し上げます。

さて、上述のように荒れに荒れたグラウンドコンディションを生き返らせスポーツフェスタの会場を作り上げてくれたのは、生徒たちでした。銀杏の落ち葉や実を拾い、テントを設置し、重い荷物を運び一生懸命に準備に取り組んでいました。また、体育館裏の大量に倒れた竹を黙々と撤去するなど、台風が来なければしなくてもいい作業もありました。懸命に働いている姿に、たくましさと心強さを感じました。生きていく上で大切な力を、今学んでいるんだなあと感じながら作業の様子を見ていました。頼りになる子どもたちというフレーズが私の頭の中でリフレインしていました。

頼りになる子どもたち

『頼りになる子どもたち』のテーマでの返信を紹介させていただきます。

- 洗濯物を取り入れていると、自発的にお手伝いをしてくれます。夕食を作っているとふと近づいてきてさりげなくお手伝いをしてくれます。いつも笑顔が素敵で、とても癒やされて幸福感が更に増します。英検や漢検、生徒会、ピアノ、習字など複数の習い事も根気強く自発的に取り組む姿勢に私が勇気と情熱を頂いています。感謝しています。
- 私の子どもは、小学生の時は同級生の中では小柄な方でした。でも中学生になって、一年生の時より二年生、二年生の時よりは三年生になって今、体格的には成長を感じています。しかし、私自身頼りがいという意味では、まだ感じたことがありません。でも小学生の頃「お母さん、お母さん」と色々な面で頼っていた子どもが中学生になって言わなくなって、子ども自身が自分で物事を考えるようになった事は、私的にはたくましくなったことだと思っています。

中学生は、私たちが考えている以上にしっかりしているものです。中学生野時期は日に日にたくましくなります。大人が頼ると子どもは自信を持つことができます。たとえ小さな事でも力になってくれたときにかける感謝の言葉や、賞賛の言葉は成長の肥やしとなります。頼られることによって、自己存在感が充足し、周囲のことに気を配る力がつきます。子どもたちの力を信じて、是非頼ってみてください。思わぬ力を發揮してくれると思います。

次回の通信は【食べ物】についてざっくりとお話ししたらと思います。

食欲の秋ですね。食べ物についての話を聞かせて下さい。得意料理、好きな(嫌いな)食べ物、食べ物にまつわるストーリー、失敗談、食についての考え方、お弁当のことなどなど何でも結構です。子育てとは切り離して、保護者の方の楽しいお話を待っています。もちろん、食について教育的なお話を頂いても大丈夫です。よろしくお願ひします。

きりとり

年 生徒名

保護者名